



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
E-mail:sato.juichi.v7@f.mail.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No. 51 (2025. 9) 本号の編集担当者 井上真智子

【支部情報】

予定

1) 『第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2025 年 11 月 30 日（日） 会場：福井大学医学部附属病院 臨床研修センター 白翁会ホール

2) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2026』

2026 年 3 月 14 日（土）ZOOM によるオンライン開催

●三重支部

【活動報告】

1) メンタリングメンター研修会 2025 開催

【日時】2025 年 6 月 18 日（水）18：30～19：45、オンライン開催

【講師】近藤諭先生（富山大学）、二宮隆仁先生（みたき総合病院）

【内容】①本当に学生のサポートになるには？

②学生にどんな影響を与えているのだろうか？

③具体的にみんなどうやっているのか？

④その他、不明や不安な点がある。

2) 日本プライマリ・ケア連合学会学術集会 参加

【日時】2025 年 6 月 20 日（金）～22 日（日）

三重大学学生 19 名参加（9 演題発表）



3) レジデントデイ 開催

【日時】2025年7月24日(木) 15:00~18:00

【会場】三重大学医学部内講義室

三重総診レジデントデイを開催。専攻医10名(内1名はオンライン参加)、指導医が参加しました。

先輩専攻医からの研修のレクチャー、ビデオレビュー、ケースディスカッション等、学びの多い勉強会となりました。



4) 紀南合宿 開催

【日時】2025年8月14日(木)~20日(水)

【場所】おのだに診療所、くまのなる在宅診療所、荒坂診療所、あたわ在宅診療所、紀宝町健康ぷらざ、
なないろサロン 等

【内容】

- ・地域の診療所でプライマリ・ケア(外来診療、訪問診療)が実際にどのように行われているのかを知る。
- ・多職種連携やチーム医療、地域における疾病予防・健康維持増進の活動を体験する。
- ・総合診療医・家庭医のキャリアについて知る。
- ・自分の価値観やキャリア像を言語化できるようになる。ロールモデルを見つける。



地域の診療所や多職種の皆さまのご協力でたくさんの学びがありました。

●富山支部

【活動報告】

1) PF 勉強会 (エビカン)

県内の研修プログラムが共同で開催しているポートフォリオ勉強会を、継続して開催しています。専攻医からは CbD の提示や外来診療のビデオフィードバック、ポートフォリオ発表があり、診療や私生活での経験すべてを総合診療医としての糧にする場になっています。

2) とむじえり修了式

臨床倫理認定士・河合皓太先生（かみいち総合病院）による臨床倫理ワークショップを開催したのち、富山大学総合診療科の研修修了者 5 名の修了式を行いました。同科では専攻医主体の勉強会や手厚いメンタリング体制が特徴で、修了生はこの経験を糧に専門医として羽ばたいていきます。



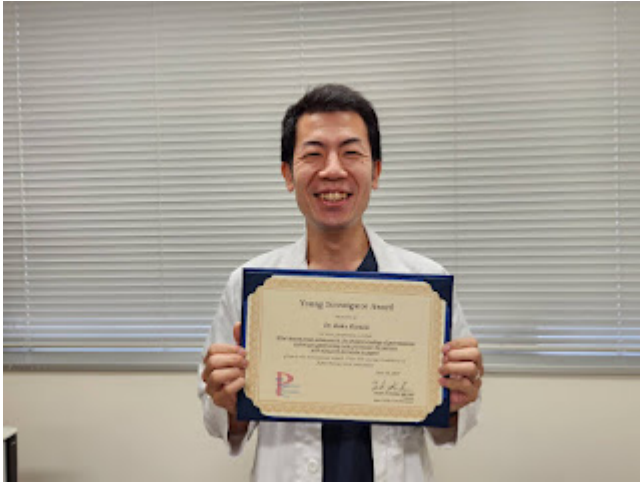
3) 専攻医加入歓迎会&専門医合格祝賀会

富山大学総合診療科では、新しく加わった専攻医の歓迎会と、専門医合格者の祝賀会として 5 月 18 日に開催し、バーベキューを行いました。メンバーの家族も大勢参加した和気あいあいとした雰囲気の中、「わくわく総診」として互いに成長していく決意を新たにしました。



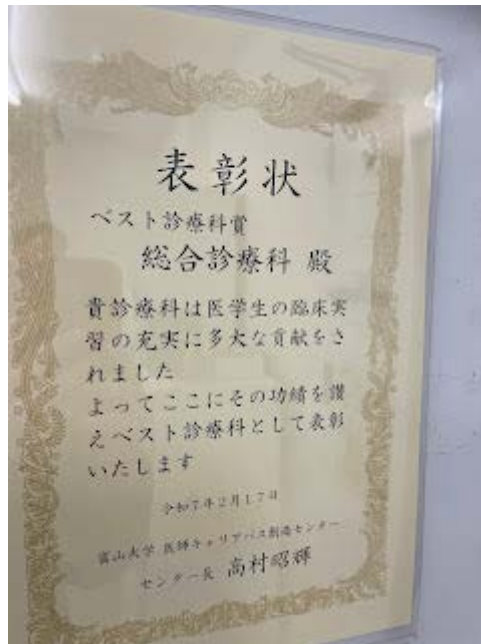
4) 黒田格医師が Young Investigator Award を受賞

6 月 20 日～22 日に北海道で開催された第 16 回プライマリ・ケア連合学会学術大会 2025 にて、富山大学総合診療科の黒田格医師（富山大学附属病院総合診療科指導医）が Young Investigator Award を受賞しました。発表は「What factors cause dilemmas in the decision-making of percutaneous endoscopic gastrostomy tube placement for patients with advanced dementia in Japan?」というテーマで、会場では ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関する活発な議論が交わされました。



5) 医学生が選ぶベスト診療科、ベスト指導医賞を受賞

富山大学の臨床実習に参加した医学生の投票により、富山大学総合診療科が「ベスト診療科」に、また齊藤麻由子医師が「ベスト指導医」に選出されました。齊藤医師は医学生のみならず「研修医が選ぶベスト指導医」にも2年連続で選ばれており、教育面での高い評価が続いています。富山大学総合診療科では、今後も一丸となって教育に尽力してまいります。



6) とむじぇり専門研修プログラム説明会

富山大学総合診療科専門研修プログラムの説明会を、5月26日および7月15日にハイブリッド形式で開催しました。県内外から多数のお申し込みをいただき、特に7月は専攻医と直接話す機会を設けたことで、参加者の理解がさらに深まる会となりました。

7) JPCA とやま「お引っ越し働き方相談窓口」開設

日本プライマリ・ケア連合学会富山県支部では、県内外からの移住を検討される方に向けて「お引っ越し働き方相談窓口」を開設しました。富山県に限らず、上越・飛騨・石川地域も含めて幅広く相談可能で、学会員以外の方も利用できます。

「移住後どんな働き方ができるのか」「総合診療に転職したい」など、漠然とした段階からでもお気軽にご相談ください。

ご相談は以下のQRコードから
お気軽にどうぞ！



ぼやっとした段階から相談に乗ります
(学会員以外でも大丈夫です)

総合診療医のみならず、他診療科出身でも歓迎！
改めて専門医を取得したい
ひとまず一般外来をこなせるようになりたい、
在宅医療を自信をもって実施したい
なども相談に応じます！

【活動予定】

今年も「北陸総合診療懇話会」富山大学で開催します！

テーマは「北陸の認知症ケア」です。

全ての方に役立つこと間違いなしの盛りだくさんの内容で演者の皆様に取り組みを共有していただきます。

日時：10月4日土曜 14時

会場：富山大学附属病院

日医工オーディトリウム

認知症やプライマリ・ケアに興味のある全ての方対象
各地の取組みを共有し認知症に関する学びを深めます



第20回
北陸総合診療懇話会
「北陸の認知症ケア」
兼 第2回 日本プライマリ・ケア連合学会富山県支部会

日時 **2025年 10月04日(土)**
14:00-17:00

会場 **富山大学附属病院
日医工オーディトリウム**

プログラム

オープニング
黒田 格 (富山大学附属病院)

ご講演 (敬称略)
狩野恵彦 (厚生連高岡病院)
温井孝昌 (富山大学附属病院)
荒幡昌久 (富山大学附属病院)
中橋 毅 (穴水総合病院)
西岡 亮 (金沢大学附属病院)
横川加津子・清水海斗
(永平寺町立在宅訪問診療所)

※13:00-13:30 富山県支部総会開催

主催：富山大学附属病院 総合診療科
連絡先：076-434-7244、kaku555552007@gmail.com (代表 黒田 格)

●石川支部

【活動報告】

1) 第12回あなみず地域医療塾

日時：2025年8月3(日) 9:00～16:30

場所：さわやか交流館ブルー（石川県穴水町）

参加：指導医1名、医師3名、薬剤師2名、看護師11名、看護学生13名

内容：チーム医療による地域の災害後の医療支援シミュレーションセミナー

昨年は震災のため開催できなかった医療塾が災害後の医療支援をテーマに開催された。実際に避難所となっていたさわやか交流館に避難所を再現し、チームで避難所の医療支援のシミュレーションを行って災害関連死抑制のノウハウを身につけるセミナーとなった。



【報告事項】

石川支部の代表を務めていただいた吉岡哲也氏が恵寿総合病院を退職され京都府の医療機関に異動されたことに伴い新たに代表を中橋毅氏（公立穴水総合病院）、幹事を野口卓夫氏（城北病院）が担当することとなりました。

【今後の予定】

1) 北陸総合診療懇話会

日時：2025年10月4日（土）14：00～17：00

場所：富山大キャンパス内オーディトリウム

テーマ：北陸の認知症ケア

多分野・多方面からの視点を集め総合討論を行うシンポジウム形式

●岐阜支部

【活動報告】

1) 2025年度第2回ぎふ総合診療レジデントデイ

日時：2025年7月11日（金）13:00~17:00

場所：岐阜大学医学部附属病院(およびオンライン)

参加：専攻医6名、専門医・指導医2名

内容：

13：00～14：00 コアレクチャー（栄養）

14：00～15：30 エコー実習（エコーガイド下穿刺、トリガーポイント）

15：30～16：30 鑑別診断ブラッシュアップ

16：00～17：00 医局会

専攻医の交流・学び・相談の場として、2か月に1回「レジデントデイ」を開催しています。今回は症例検討に加え、中心静脈カテーテル挿入手技のエコー実習を行いました。こんなにやくにストローを刺して疑似血管を作り、実際の穿刺手技を模擬体験するユニークなトレーニングです。日常診療ではなかなかじっくり練習できない技術を、和やかな雰囲気の中で学ぶ機会となりました。



2) 第2回岐阜県総合診療専門研修プログラム指導者講習会

日時：2025年7月19日（土）16:00～18:00

場所：県北西部地域医療センター国保白鳥病院

内容：岐阜県の総合診療専攻医を増やす対策

3) 2025年度第3回ぎふ総合診療カンファレンス

日時：2025年8月13日（水）20:00～21:00 オンライン開催

内容：ロジカルシンキング、クリティカルシンキングについて

4) 岐阜県の地域医療従事者による研究ネットワーク（GP-COMERnet 2025）

【GP-COMERnet とは?】

GP-COMERnet は、Gifu Primary Care and COMMunity Medicine Research Network Group 岐阜プライマリ・ケア・地域医療研究ネットワーク の略であります。地域医療、総合診療を目指す医師のための研究ネットワークです。また、GP（総合診療医）COME おいで! という意味もあります。

背景としては、日常地域医療に従事していると「地域現場発信のエビデンスが少ない」ということをよく聞きます。一方、地域で研究に取り組めない（まない）理由としては、「やりたくてもノウハウがわからない」「何をしたらいいかわからない」「あまりやる気がない」などがありました。そこで、ネットワークを構築することによりお互いの悩みや問題点を共有し解決法を見いだしていくことが、地域医療に従事している方への促進になる感じ、今から20年前に当会立ち上がりました

本会の目的は、「地域医療従事者の研究活動を活発化させ、地域医療の質の向上と発展に寄与すること」と「地域医療、総合診療に従事する医師間の情報交換と親睦」です

財政的支援としては、岐阜県自治医科大学受入市町村会からの支援をいただいておりますが、今年度からは地域医療振興協会岐阜県支部から支援をいただいております。

【活動内容】

- ・年1回の全体会議（アイデア共有、講演、現地会議）を行い、現在まで22回の現地研修会が実施されています
- ・地域診療所や中核病院との双方向の研究支援
- ・学会発表や論文投稿（国内外）

【参加施設】

岐阜県内の診療所・病院（白川村、高山市、郡上市、恵那市、飛騨市など）

【研究実績例】

- 宮田雅史ら 臨床研修に関する minimal requirement （学会発表のみ）
- 廣瀬英生, 後藤忠雄. プライマリ・ケア医に紹介された心筋梗塞患者に関する紹介内容の検討. 日本プライマリ・ケア学会誌 第31巻(1)45
- 土屋邦洋ら プライマリ・ケア施設における下部尿路症状の調査（学会発表のみ）
- 松久 雄紀, 廣瀬 英生, 後藤 忠雄, GP-COMERnet Group. 子宮頸癌ワクチンに対する意識調査 日本プライマリ・ケア連合学会誌 36 巻(4) 297
- 杉山嘉宏ら 定期通院中の患者とかかりつけ医の漢方薬治療に対する意識調査（学会発表のみ）
- Ban T, Hirose H, Teraura H, Kotani K, Gotoh T. Multiple physician visits after restricting the prescription of compresses/patches in a Japanese rural community: preliminary results. Rural Remote Health. 2019 Feb;19(1):5078

- Matsuhisa Y, Kenzaka T, Kobayashi S, Taguchi J, Hirose H, Gotoh T. Sepsis following acute pyelonephritis caused by *Trueperella bernardiae*: a case report and literature review. BMC Infect Dis. 24;23(1):121
- Matsuhisa Y, Kenzaka T, Shimizu H, Hirose H, Gotoh T. Recurrence of unilateral angioedema of the tongue: A case report. World J Clin Cases. 26;11(27):6603-6612
- Matsuhisa Y, Kenzaka T, Hirose H, Gotoh T. Brown crusts on infant owing to contact dermatitis associated with ethanol disinfection. J Gen Fam Med. 6;25(1):71-72.
- Matsuhisa Y, Kenzaka T, Hirose H, Gotoh T. Cellulitis caused by *Roseomonas mucosa* in a child: a case report. BMC Infect Dis. 2023 Dec 11;23(1):867

【今回の全体会議について】

講師は埼玉県立医大教授の竹島太郎先生をお迎えして、世界遺産で有名な白川村で行いました。研修課のお題は、「ここがポイント!質の高い学会抄録を書こう!であります(チラシは別紙参照)。ご自身が指導されためまいの論文を例にしてどのように推敲していったかを参加者全員で考えました。それとともに、構造化された抄録がいかに大切か、文学的に描くのではなくて、科学的に必要な情報をいかに的確に描くかを教えていただきました。夜には、懇親会を行い、昨今の地域医療の状況も含め、情報交換を行いました



●福井支部

1) 2025 年 7 月 4 日 コアレクとのコラボ！外傷 初期診療

2) 2025 年 7 月 23 日～ 夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜 2025 年 7 月 25 日 超音波を極める！FAST から肺エコーまで

3) 2025 年 7 月 25 日 超音波を極める！FAST から肺エコーまで

4) 2025 年 8 月 28 日 G G G セミナー

Dr. Fok-Han Leung 「Networking and Career Planning in Modern Medical Training」

1) 2025 年 7 月 4 日 コアレクとのコラボ！外傷 初期診療

2025 年 7 月 4 日こしょべんを開催しました！今回のこしょべんは、「コアレクとのコラボ！外傷 初期診療」交通外傷や転落外傷など外傷初期診療の primary と secondary survey のポイントを学びました。



夏だ!! 海と地域医療'25 体験ツアーin高浜 5日間

福井県 高浜町 **ブルーフラッグとは...**

国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した高浜町の若狭和田ビーチに、全国各地から4週間で合計12名が集結し、地域医療&海を濃厚に感じていただきました。

皆さま、お待たせしました！毎年全国から、海好き・地域好きが集まる大人気の「地域医療体験ツアー」です。地域の皆さんや全国の仲間と交流しながら、地域を丸ごと体験してください！

ツアー内容

- 地域医療・総合診療レクチャー
- 和田診療所／若狭高浜病院での診療実習(入院・外来・在宅医療など)
- 海水浴場の救護ボランティア(土・日曜・祝日)
- 宿泊は民泊、海やイベントを楽しむ自由時間もたっぷり確保します！

参加資格 地域医療・総合診療に興味がある、海好きな医学生・研修医・看護学生など

費用 10,000円 (決着後返金)

日程

- ① 7月23日(水)～7月27日(日)
- ② 7月30日(水)～8月3日(日)
- ③ 8月6日(水)～8月10日(日)
- ④ 8月13日(水)～8月17日(日)

集合時間 13:30
集合場所 高浜町保健福祉センター

6月9日(月)正午から受付開始
右のQRコードよりお申し込み下さい。

【事業企画】高浜町
【共催】高浜町国民健康保険 和田診療所、JCHO若狭高浜病院、福井大学医学部地域ケアリサーチ推進、たかはま地域医療イノベーションセンター
【旅行企画・実施】(一社)若狭高浜観光協会

このツアーは、高浜町における医療人材確保・育成の一環として行われています。

2) 夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜 開催！

毎年恒例、海浜救護所での救護体験と診療所等での地域医療体験を組み合わせた、医療系学生・若手専門職向けの人気のツアー、「夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜」が今年も開催されました！アジアで初めてビーチの国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した高浜町の若狭和田ビーチに、全国各地から4週間で合計12名が集結し、地域医療&海を濃厚に感じていただきました。

<http://www.wadashin.com/education/tour.php>

3) 2025 年 7 月 25 日 超音波を極める！FAST から肺エコーまで

2025 年 7 月 25 日こしょべんを開催しました！今回のこしょべんは、「超音波を極める！FAST から肺エコーまで」救急外来ではもちろん、ICU、病棟業務、在宅の現場でも活躍の場が広い超音波の勉強会でした。



4) 2025 年 8 月 28 日 G G G セミナー

Dr. Fok-Han Leung 「Networking and Career Planning in Modern Medical Training」

2025 年 8 月 28 日 G G G セミナー開催しました。

今回は、トロント大学 Dr. Fok-Han Leung 「Networking and Career Planning in Modern Medical Training」
鋭い質問にも、ズバッと回答！モチベーションもアゲアゲです！！



●静岡支部

【活動報告】

1) 第5回不登校・発達障害に関する情報共有会議開催／森町家庭医療クリニック（8月7日）

森町家庭医療クリニックでは8月7日に町内の小中学校の教師、スクールカウンセラー、教育委員会の皆様と一緒に第5回不登校・発達障害に関する情報共有会議を開催しました。

町内で児童精神科を開業している先生に講師としてお越しいただき、教員の皆様、医師、公認心理師、看護スタッフで事例に基づくグループワークを行いました。

引き続き連携を取りながら地域の皆様のために協力して活動して参ります。



2) 出版のお知らせ：『ジェネラリストの工具箱～外来に役立つ総合診療スキルブック～』

共同執筆者：松田真和医師／菊川市家庭医療センター

2025年6月に『ジェネラリストの工具箱～外来に役立つ総合診療スキルブック～』が出版されました。外来診療の現場で「こんなとき、どうすればいい？」と迷う場面に答えてくれる、頼もしい一冊です。Q&A形式でまとめられており、診断や治療に加えて、患者さんとの関わり方や多職種との連携など、日々の診療にすぐに活かせる工夫がたくさん詰まっています。

当院からは、センター長の松田真和医師が「薬の飲み忘れにはどう対処する？」「認知症の人が一人で外来に来たら？」を執筆しました。どちらも身近で大切なテーマであり、対応の方法だけでなく、患者さんやご家族の背景に寄り添った視点が紹介されています。

全国の先生方の知恵と経験がつまった“工具箱”のなかで、松田医師の寄稿も、皆さまの日々の診療の小さな助けになれば幸いです。



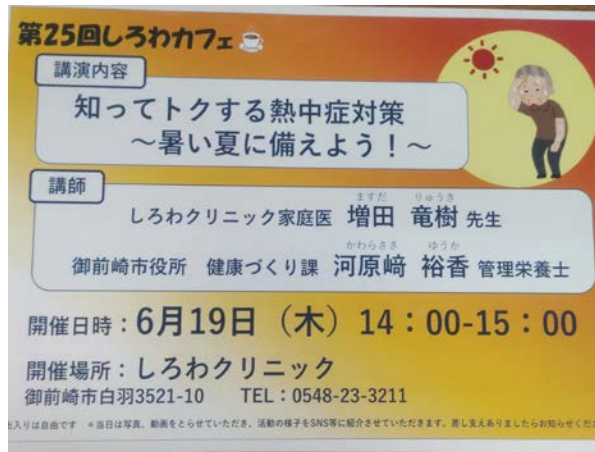
3) 第25回しろわカフェ開催／御前崎市家庭医療センターしろわクリニック (6月19日)

6月19日(木)に第25回しろわカフェを開催いたしました。しろわカフェは市民向けの公開講座です。

今回のテーマは「知ってトクする熱中症対策 ～暑い夏に備えよう!～」でした。

参加者にとって関心の高い熱中症対策がテーマとあって、当日は多くの近隣住民の方にお集まりいただきました。家庭医からのわかりやすいレクチャーに加え、今回は御前崎市役所から管理栄養士の方を講師としてお招きし、生活習慣や栄養面からの対策もフォローしていただきました。

今回も大盛況のうちに終了しました。次回は9月の開催を予定しております。



4) 第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 松永拓医師、優秀演題賞受賞 (6月20日～22日)

SFM9期修了生で現在森町にて診療/教育をしている松永医師が学会発表で優秀演題賞を受賞しました。

SFMメンバー一同と喜びを分かちあいました。



5) 浜松医科大学総合診療研修プログラム (SFM) 座談会 (6月26日、30日)

総合診療専攻医×指導医がペアとなり、「専攻医に聞く! どうしてあなたは SFM へ?」をテーマに座談会を開催しました。ラジオ感覚で耳だけ参加も可能であり、たくさんの学生のみなさんにご参加いただきました。

大好評につき9月以降は「テーマ: 総合診療医が見た19番目のカルテ」として継続開催いたします。

HPで随時開催についてご案内いたしますので、今後ともご期待ください!

6) 浜松医科大学総合診療研修プログラム 病院総合診療医コース (SHM)

2026年度から浜松医大総合診療研修プログラムに病院総合診療医コースを新設します。高度急性期病院と中小規模病院を組み合わせた研修で、病院総合診療医に求められる能力を身に付けられるプログラムです。大学附属病院に総合診療科を開設し、研修プログラムの整備、県内の研修施設との連携強化など、研修環境の整備を進めています。

月に1回、オンラインで勉強会・プログラム説明会を開催しており、これまで「病院総合医の勉強法、重要最新論文 Update」、「不明熱の診断推論」、「南海トラフ地震に備え総合診療医ができること」のテーマでレクチャーを行い、

延べ 70 名以上の方にご参加いただきました。次回は 10 月 6 日(月)です。皆様のご参加をお待ちしております！

【今後の開催予定】

◆浜松医科大学総合診療研修プログラム（SFM）座談会

日時：9 月未定

場所：ZOOM

内容：「総合診療医が見た 19 番目のカルテ」

詳細はこちら▶<https://www.shizuoka-fm.org/>

◆浜松医科大学総合診療研修プログラム 病院総合診療医コース（SHM）第 4 回オンライン勉強会・プログラム説明会

日時：10 月 6 日(月) 20:30～21:30

場所：ZOOM

内容：「悪性腫瘍治療中の感染症」レクチャー、プログラム説明会、希望者のみ個別面談

●中部ブロック支部 薬剤師部会（設置予定）より

【活動の概要】

日本プライマリ・ケア連合学会（JPCA）を中心とした中部ブロック内で活動している薬剤師の有志では、これまで定期的に集う場を設けていました。

プライマリ・ケア認定薬剤師の認定更新に必須のポートフォリオ（事例報告書）作成の相談会や、ポートフォリオの発表練習、地域での活動報告や様々な発表の事前練習・報告発表、日頃の悩み症例の相談など、住む地域が近いからこそ顔の見える関係も重要性を増してきました。

薬局、病医院、ドラッグストア、大学などのアカデミア、企業や行政職などに身をおき、プライマリ・ケアの実践に興味のある薬剤師や薬学生なら自由に参加できます。

【これまでの活動の抜粋】

2022 年 10 月フェイスブックでグループを作成。

不定期ながらオンラインによる集いを開催。

ポートフォリオの相談をメインに、日本薬学会での発表の予演、県病院薬剤師会での発表報告、近畿ポートフォリオフェスティバルでの発表の予演・評価報告、静岡プライマリ・ケアフォーラムでの発表の予演などを適時行っています。

2024 年 1 月には、能登半島地震の被災状況の確認や、月刊の薬剤師向け専門誌（2025 年 8 月号）に投稿する報告、JPCA 学術大会の意気込みや感想なども行っています。

【2025 年春より】

中部ブロック支部事務局と相談しながら薬剤師部会の設置に向けて体制を整えているところです。

また、各県に世話人を置いて、体制強化を目指しています。

- 富山県：いまのところ世話人は不在です
- 石川県：折戸真澄先生（タイガー薬局/内灘町）
- 福井県：野田学先生（JCHO 若狭高浜病院/高浜町）
- 岐阜県：小川克己先生（リアン薬局各務原店/各務原市、副代表候補）

- 愛知県：鈴木秀明先生（あんず薬局知立店/知立市、JPCA 薬剤師部会副代表）
- 三重県：荒木史郎先生（一志調剤薬局中町店/津市、代表）
- 静岡県：西永尚典先生（ウエスト薬局/浜松市、副代表候補）

2025 年度は隔月で「ミーティング」を開催していて、5/8（木）21 時から、7/3（木）21 時からオンラインで実施しました。写真は 7/3 の案内と様子です（参加者 8 人）。

学生や若い先生方が参加しやすいようオープン参加の形を取り始めています。

- だいたい平日の夜を予定しています
- 1 時間～1 時間 30 分程度
- Zoom でのオンライン開催
- 参加費は無料
- 申込は不要（途中参加・途中退席・耳だけ参加も OK）



次回のミーティングは 9/11（木）21 時からを予定しています。
お気軽にご参加ください。



【みなさまへのお願い】

同じ中部ブロック内で活動している薬剤師、そして将来を模索している薬学生、医師目線でいえば同じ病院内や在宅先での興味ありそうな薬剤師、看護師目線では同じ空気感を持っていそうな薬剤師にお声かけ頂けると嬉しいです。

プライマリ・ケア認定薬剤師を目指している方も、取得している方も、まだ JPCA 入会を悩んでいる方も大歓迎です。

集いの場、ミーティングの案内の場はまだ限られており、目の届かないことが多いと思いますが、だんだんに整備してまいります。

ちなみにプライマリ・ケア認定薬剤師となるためには《JPCA の認定医、専門医、指導医による外来診療及び訪問診療の見学実習が必須》となっており、受けていただける実習先が多くはない状況です。あきらめずに通えるエリアが広がるよう医師のネットワークにも期待して、多くの仲間とプライマリ・ケアを実践していきましょう。

(文責：世話人一同)

<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口

三重県；若林英樹、富山県；三浦太郎、石川県；中橋毅、岐阜県；森田浩之、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子、愛知県；佐藤寿一

●プログラム責任者の会中部ブロック代表；大浦誠

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください

中部ブロック支部事務局 kimura.etsuko.f2@f.mail.nagoya-u.ac.jp